



淫乱艦隊出撃！
…せず!?!12~お人形スイッチ編~

ある日の鎮守府・・・

工廠

夕張「よ～し、出来た！これで提督を・・・ふふっ。

・・・うう。ずっと集中して作ってたからちょっと・・・トイレ行ってこよっと。」

コツコツコツコツ・・・

提督「夕張・・・は、いない・・・か。少し頼もうと思った用事があったんだが・・・ん？」

何か机にスイッチみたいなものが置いてあるな・・・何だ？

提督「・・・・・・・・！！？」

な・・・なんだこれは・・・お人形化スイッチ！？夕張め・・・また何か変なものを

作っていたのか。しかもなんだこのネーミングは・・・嫌な予感のするスイッチだな・・・。

・・・む？何だこの紙は・・・この変なスイッチの説明書き・・・か？

・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

おいおいおいおい・・・これを一回押すと自分以外の周囲にいる人を人形のように

出来る・・・だと？

二回押すことで・・・お人形化解除・・・？

・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

提督「・・・・・・・・・・。まさかな・・・馬鹿馬鹿しい。」

だが、何か嫌な予感がするし・・・これは自分が預かっておくか。

スタスタスタスタ・・・

夕張「はあ～スッキリした・・・。って・・・あれ！？スイッチがなくなってる！？

な、何で！？あ・・・あれ～！？」

ちつくしよ〜。〜やられちまったぜ。
このあたしが大破しちまうとはよお。

ご苦労だったな、摩耶。
それで……。どうして
自分の部屋にいるんだ？
(気づいてないのか……。丸見えなんだが。)

ん？入渠待ちしてる間
暇だからさ……。
順番……。あたしが
最後って言われたし……。

カキーン

そうか……。
(いかん……。こうも見えてると
流石に変な気分にな
ってくるじゃないか。
そういえばあのスイッチ……。
まさかとはおもうが丁度いい
……。使ってみるか。)

(……って何もおこらんじやないか
……。やっぱり流石にそんな
都合のいいスイツチ
あるわけないよな)

それはそうと摩耶……。さっきから
丸見えなんだが……。
これは誘っていると
とって良いんだな？

は？何言ってるんだよ？
誘ってるって何の事……。
って……。うわあああつ？

な、何してんだあ？
馬鹿じゃねえのか！

すっ……

馬鹿とはひどいな。
こんな風に見せつけて
誘っておいて……。
それはないんじゃないか？

トクッ



な、なんだよ……
今日は随分と強気じゃねえか……

何、調子に乗ってんだあ……？
マジでぶつとばされてえのか？あ？

ぶつとばされたくはないな……
ただ……お前のマ○コで
気持ち良くなりたいだけだ。

あー

また

また

(まあ、どうせエッチしたく
なってしまうたのだから
させてくれるか試してみるか。)

だから・・・あたしはそんな事
するつもりなんて
さらさらねえってんだ・・・！

.....

キィ

.....は？



(急に大人しくなった?)
。。。おいおい。。。まさか。。。)

。。。で?してもいいのか?摩耶。。。)

あー。。。
いいぜ。。。やらせてやるよ。。。
どうせ暇してたんだし。。。)

ナナナ

ナナナ

提督がしたいってんなら
あたしのマ○コにぶち込んで
好き放題出しちまえば
いいじゃねえか。。。)

(.....なんだ、これは。
本当に摩耶が人形のように.....
だが.....)

そうか.....それなら.....
好きにさせてもらおうとしようか。

ギキッ

ギキッ

ズんっ

.....
相変わらずキツくて.....
なかなか入っていかないな。

「これで.....ぶっだ.....」

.....
よし、入ったか.....
それじゃ、好きに
擦らせてもらおうぞ。

ふっ……ふっ……!!
キツくて気持ちが良いぞ
摩耶……っ。

グツチヨ
グツチヤ
グツチヨ
グツチヤ

それはよかったな……
ふっ……すごい効き目だな。
いつもあれだけ生意気な
こいつがここまで
大人しくなるとは……
まさか摩耶のマ○コを
こんなに気軽に突ける
時が来るなんてな。
はあ……!はあ……!!



(すごいなこれは。
まさか本当だったとは。
あの摩耶がこんなに
無抵抗に……)

くっ。。。。はあっ
はあっ。。。。はあっ

ピシッ
ピシッ

ピシッ
ピシッ

ピシッ
ピシッ

ピシッ
ピシッ

ピシッ
ピシッ



はあ……はあ……
はあ……はあ……
はあ……はあ……

はあ……

はあ……

ベチヤ

感謝するぞ、摩耶……
お言葉に甘えて
たっぷり出させて
もらったぞ……

ベチヤ

ベチヤ

はあ……

（膣内に出されても
この大人しき……か。
夕張め……
恐ろしいものを
作ってくれたな。
何をしようとして
いたんだ。）



(さて・・・することは
させてもらったし・・・
そろそろ人形化を解いてやるか。)

カチカチッ

ズ

ズ





.....
な.....なんだ.....?
.....

.....
え？
.....

！！

.....は？
.....なんだ.....
.....うわあああっ？
.....！！

アッ

なんだよこれえ？

これ.....あれだろ.....！？

て、提督.....お前.....

何勝手に.....！！

何を言ってるんだ？

お前がマ○コに好きに
出して良いって言ったんじゃないか。
だからお言葉に甘えさせて
もらったのさ。

はあっ？何言ってるんだ！

あたしがそんな事言うわけ.....！！

ゴド

ムピッ

ムピッ

□□□□え？
□□□□あ、あれ……？

あたし……確かに……
さつきそんな事を……

あ……あれ？
……なんで……だ……？

そうだろうか？
言っていたじゃないか。
いきなり真逆の事を言うな。
びっくりするじゃないか。



う。。。うるせー！
とにかくあたしは全然
こんな事するつもりじゃ
なかったんだよ！

キーン

ふざけやがって！
この借りは必ず返すからな！
覚えときな！

。。。やれやれ。。。滅茶苦茶だな。

（これは。。。凄いな。
こんなものひとつで
やりたい放題じゃないか。。。
夕張、これはありがたく
使わせてもらおうぞ。）

ふう……。

何だ祥鳳……
掃除してくれているのか？

あ……提督。
はい……ちよつと汚れが
目立つところが増
えていたので。

んぎん

そうか……なあ
祥鳳……せつかくだ。
自分のチ○ポについた汚れも
お前のオマ○コで
掃除してくれないか？

え・・・っ？
な、何を言って・・・
ごめんなさい・・・
あとちよっと掃除が
ありますので・・・。

カキカキカキ

カキカキカキ

むっ・・・そうか・・・
(ふっ・・・)
だったら・・・
これで・・・)

あの・・・
そのあとでしたら・・・。

かへん
じまん

あ
.....
れ
.....
?

(そのあとでしたら?)

し、しまった.....これは

普通にさせてくれてたのか?)

.....

……まあ、いいか……。

それじゃあ
楽しませてもらうぞ……祥鳳。

はい……提督……
どうぞご存分に……。

ほか

ほか



まずは後ろの穴で
自分のチ○ポを
掃除させてもらおう
事にするか……
よ……つと。

………

ゴトッ

ギクッ

ギクッ

ふっ……それじゃ
動かさせてもらっぞ……

はい……
提督……

はあ……っ！はあっ……！！
流石だな祥鳳……っ。

柔らかくて気持ち良い尻だ……。
これじゃあ……すぐに
イってしまいそうだ……。



……ありがとうございます。
……そうですか
うっ……！くっ！

それじゃあ掃除は
そろそろ終わりにして
一回出させて
もらおうぞ……っ！

ふう……ふう……ふう……

気持ち良すぎてつい
……激しく……
はあっ……
擦りすぎてしまったか。

まあ、おかげでたっぷり
チ○ポを綺麗に
させてもらえたか……

っ！

チ○ポ

チ○ポ

さあ……それじゃ
次はその綺麗にして
もらったチ○ポを
前の方で更に
磨いてもらおうか。

……はい
提督……

おれん

さあ・・・それじゃ
続きを頼んだぞ祥鳳。

・・・はい。

うっ・・・随分と滑りが良いな。

しゃべっ

ニキエム

ハハハ

まったく・・・
こんな風になっても
前の方がずぶ濡れ
だったとは・・・
顔に似合わず淫乱だな。

しかし・・・させてくれると
言った女をあえてこういう風に
するのもそれはそれで
良いものだな。

かんっ

ペロッ

ペロッ

ふっ・・・

本当にお人形だなこれは。

それでいて動きはちやんと

激しく動く・・・

これは・・・

クセになりそうだ・・・っ。

かんっ

う……っ！くっくっくっくっ！
イ……イク……っ！

し……子宮に……
子宮にたくさん
出ているぞ……っ！

かぐんっ

〓

ぐんぐんぐんぐん

ぐんぐんぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

……はい
……そうですね
提督……

はあ.....っ。はあ.....っ。
さて.....と.....。

カチカチッ

ズク

ズク

はっ

何.....何かお腹が.....え？



ありがとう祥鳳……
気持ち良かったぞ？

ひんぱん！

！ん？

ん？

え……！？何……？
きゃ……きゃあつ！！
え……ええっ？！
何で私……提督と……

ん？

ん？



あっ……!?

……ああああああっ!!

……あうっ!!



ドクン!

ふっ。いったのか祥鳳……
そんなにいきなり腰を
動かしたりするからだ。

さあ、おかげでスッキリできた……
もう掃除に戻っても良いぞ。

ドクン!



あっ……



あっ……



ドクン!



な……何が……
どうなって……
うっ……!!
あああ……
はあ……
はあ……
はあ……

ぴゅっ♡

ぴゅっ♡

ドクン!



ドクン!



それでは提督。
榛名……
買い出しに行ってくださいね。

ああ……。……？
何だ……着替えまでしてきたのか。

ええ……ちよっとした気分転換です♡

(これはまた……
いつもとは違う雰囲気
興奮してしまうな。)

！ア

ゴウッ

なあ、榛名。

はい……？

……って、きやあっ？

て、提督……何を咄してゐるんですか！

ボロッ

いや、お前のその格好を
見たらムラムラしてきてな。
一回だけさせてくれないか？

たじっ



え……？
いいえあの……
すみません、提督……

時間的に、今からでかけないと
夕方に戻ってこれませんし……
そういうことをしている時間は……

そうか……それは……残念だな。

そ、それでは……榛名
行ってきますね。

カネシマ

え.....??

.....



念のためもう一回聞くが
セックスをさせてはくれないんだな？

かぐんっ
ニ

いいえ。
榛名は提督のものですから。
提督がしたいとおっしゃるのでしたら
喜んでセックスさせていただきます。

(ふっ。うまくいったな……。)
そうか、それならさせてもらおうとしようか。
気持ち良くしてくれよ、榛名。

はい……。榛名でいいなら……。
お相手いたします。

ハッハッ

さて、と……それじゃあ許可も貰えたことだし……たっぷりオマ○コさせてもらおうとするか。

それにしても、普通に断られたから嫌われてるのかと思っただぞ？

私が提督を嫌うなんて……そんなことありえませんが……
榛名は……提督のものなので……

そうか。嬉しいことを言ってくれるじゃないか。お礼にたっぷりと気持ち良くしてやるからな。

ズんっ

＝

＝

かんたんっ

かんたんっ

そらっ！そらっ！
そらっ！そらっ！
どうだ、榛名。
気持ち良いか。

はい……とっても……
気持ち良いです。

ぷらんっ

そうか……っ。くっ……!!

自分も気持ち良いぞ……
しっかりと包み込むような
良い締め付けだ……!!
まずは一回、出さず……っ。

ぷらんっ

……はい。

提督の「自由にどうぞ……」

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

うううううう。。。。っー！
受け取れ。。。。榛名。。。。っー！



うううううう。。。。っー！
うううううう。。。。っー！
うううううう。。。。っー！



ズンズンズン

ズン

ズン

ズン

ズンズンズン

かんたんっ

ぷんぷん

ぽん

ぽん

全部受け止めたか・・・良いぞ榛名。
一回だけと言ったが・・・やっぱり
もう一回させてもらおう事にしようか。

はい
榛名・・・
了解いたしました。

はあ

はあ

ぽん

ぽん



よつと・・・。
ふう・・・奥の奥まで入る
良い膣だ・・・。気持ち良くて
なかなか離れられんな。

ずぶ。。。

ずぶうっ

ずぶ。。。

榛名・・・今度はお前が動いて
気持ち良くしてくれ。
上下に身体を動かして
チ○ポをこするんだ。

・・・了解いたしました
提督・・・。

あゝっ

うっ……くっ……。！！
気持ち良いぞ榛名……。っ。
綺麗な顔して……。
いやらしく動くじゃないか。

……ありがとうございます。
……榛名……。っ。
……光栄です……。

よし……。じゃあもっと
スピードを上げて動いてくれ。
そのままもっと激しく
オマ○コをこすり付けるんだ。

……はい。



はあ・・・はあ・・・
しまったな・・・気持ち良すぎて
もう出してしまったか・・・

ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ふっ・・・まあいいか。
買い出しもあるようだし
これくらいで元に戻してやるか。

……あ、あれ
……榛名？

え……ひっ？
……な、何？
……！

んっ！

んっ！
んっ！

おい、榛名そんなにしめつけるな。
また中出ししてしまうぞ？

て……提督……？え？
な、なんで……？！

んっ！

や、やだ！何がどうなって……！！
いやあつ！

いやとはなんだいやとは。
気持ち良かったぞ榛名。
ほら、早く買い出しに行つて来い。
夕方に間に合わなくなるぞ？

おわん

おわん！

な……何がどうなって……！！
あ……あれ……？
でも……榛名がしても
いいって言うて……。

な……何で……え？
何で……何で私……！！
え……っ？！

おわん
おわん
おわん

司令の……スミズミの上で……♡

♪ スミ

はあっ♡
はあっ♡

♪ はあっ♡
♪ はあっ♡

んっ……♡
はあっ……♡
司令……んっ♡

……司令……ダメだって……♡

そんなにしたら……私……
おかしくなっちゃうって……♡

♡ ちゅ♡
♡ ちゅ♡
♡ ちゅ♡

♡ ちゅ♡
♡ ちゅ♡

はあっ♡はあっ……♡
……しれ……♡

ガチヤミ

は……？

何だ？呼んだか……陽炎？

い……



え……司令……!?

何で……!?

お風呂に入ってくるって……

お

いや、少し忘れ物をしたから
取りに戻ったんだが……
まさか、お前がこんな事を
しているなんてな。

ち、違うのよ……!!
これは……!!

何が違うんだ?

別に怒ってるわけじゃないんだ。

ただ、お前がそこまで欲求不満に
なっているなんてな……

自分もまだまだだな。

よし……するか。

い

い

え……？するって……
だ、ダメよ！き……今日はその……
ダメなのよ！

ダメ？何がだめだっというんだ？
そんな姿で言っただって
何の説得力もないぞ。

お前のその姿のせいで
自分も変な気分になって
しまったんだ……
お互いに何を遠慮することが
あるんだ？

カ
メ
シ
メ
シ

え……えっと……
その……今日は……。



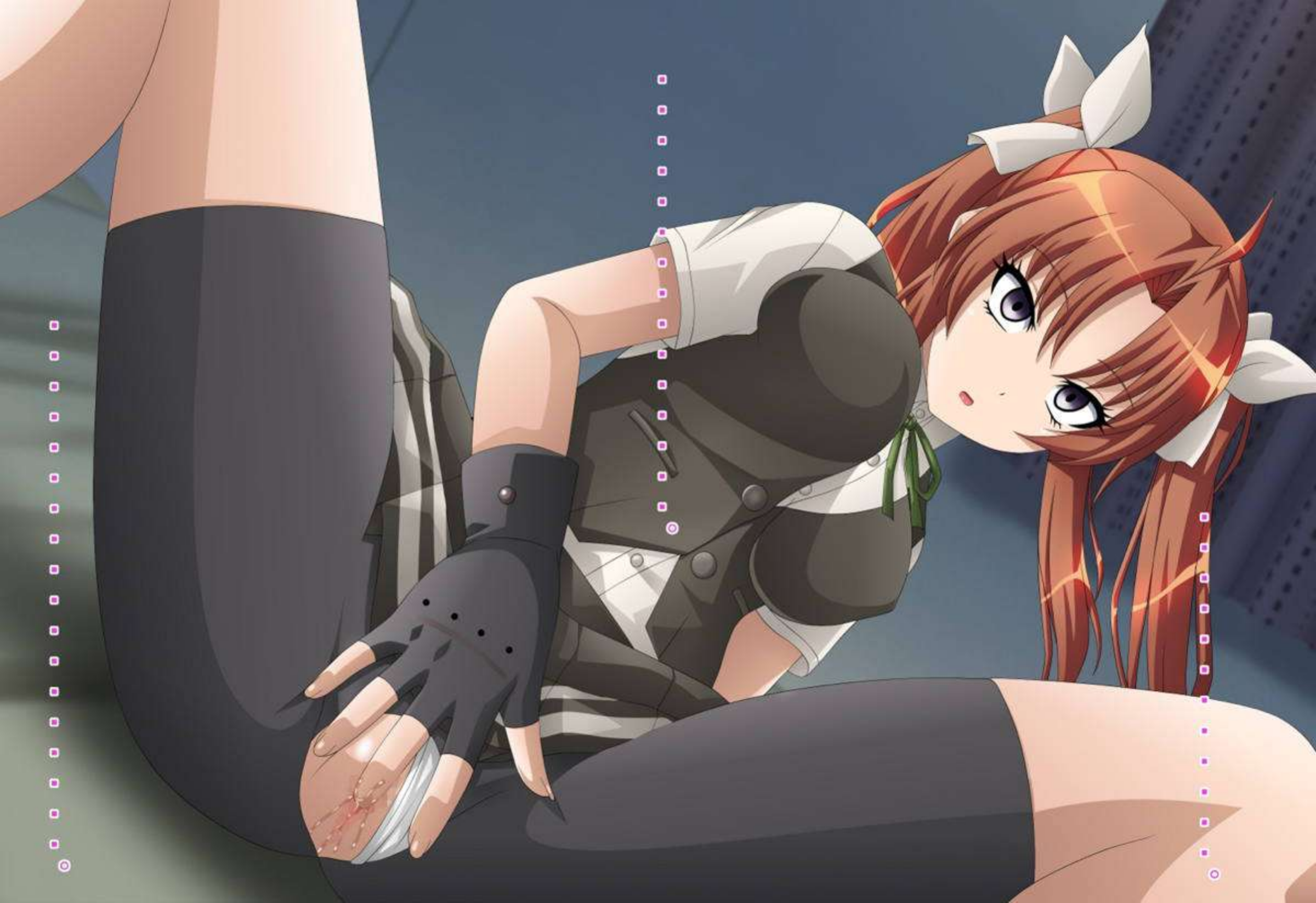
あ

れ

？

ジュン

ちゅん



さて。。。準備はすでに
出来ている事だし。。。
いきなり挿れさせてもらうぞ陽炎。

かへんじょん

わかつたわ。。。ええ。。。
。。。司令。。。



。。。。。。ん？
何だ。。。。。。？

ふっ。。。。何がダメなのか
良くわからなかったが。。。
なるほど、そういう事か。

生理中だったか。。。
それで恥ずかしがっていたのか。

ニクニク

ズー
ニクニク



くっ……。くっ！
たっぷり濡らしていたのと
生理もあって……。
はあ、はあっ……。！

かなりぬめぬめして……。
良く滑るな……。っ！
はあっ……。気持ち……。
良いぞ……。っ！

それに力が抜けているせいか……。
素直に出し入れ出来るな……。
これは……。長くはもたんか……。っ！

かんっ

ぽる

ぽる

やっ

ならば逆にまずは
思いつきり出させて
もらうぞ……。っ！

ゴキヤッ

ゴキョッ

ゴキョッ

ゴキッ

ニ

ニ



かんかん

〃〃

.....

.....

~~~~~

ムムムム

ムムムム

ムムムム



はあ。。。っ！はあ。。。っ！  
はあ。。。っ！はあ。。。っ！

ふっ。。。陽炎。。。お前の  
生理マ○コ。。。  
気持ちがよくすぎるぞ。。。  
まだもうしばらく楽しませて  
もらおう事にするよ。

ズン  
ズン

ズン  
ズン

びん

ぐん

ぐん

。。。そう  
わかったわ。。。。



1時間後.....

まったく.....  
早々に終わろうと  
思っていたのに  
もうこんな時間か  
気持ち良すぎるのも  
こまりものだな。

(結構時間が経ったが  
ずっとこのままでな.....  
その気になればずっと  
こうして好き放題にして  
おけるんじゃないか  
これは.....  
まったく.....夕張め.....  
しかし.....おかげでこれだけ  
気持ちの良い思いをして  
いるんだ.....半分は  
感謝したい気持ちだよ。)

コキコキ  
コキコキ  
コキコキ

きて・・・と・・・  
出そうになるところで  
寸止めしてきたが  
そろそろまた限界だ・・・っ！



また出るぞ・・・！  
陽炎・・・うつ・・・！  
出る・・・出すぞ・・・っ！

ふうん・・・そっか・・・  
好きに出すといいわ・・・





ジュンジュン  
ジュンジュン  
ジュンジュン

ジュンジュン

ジュン

ジュンジュンジュン

.....



カチカチッ

わ、私今日はダメだったって……!!

何してるの……!!

し……司令??

な……に……え?  
……って……熱い……?  
……うわあ??

シューシューシュー

シューシューシュー

シューシュー

(おっ……うん……)



(.....)

キキキ

言ったでしょ.....あ.....

.....

ふっ.....すまん、陽炎.....

カチッ

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

やっぱりもうちよつと  
したい気分だ・・・。

お前には悪いが・・・  
付き合ってもらおうぞ。

はあし・・・  
はあし・・・



しかし・・・つくづく  
恐ろしいものだな  
このスイッチは・・・。

ジュアヘキ

ジュアヘキ

こんなものを夕張に返す  
わけにはいかないな・・・。

これは・・・とりあえず自分が  
あずかっておくことにするか。

返したら何をされるか  
わかったものじゃ  
ないからな・・・。

ジュアヘキ

ジュアヘキ

ジュアヘキ

ジュアヘキ